

新宮山彦ぐるーぷ第2211回

第24回秩父宮記念山岳賞表彰と記念講演

◇実施日 12月3日(土)、4日(日)

◇参加者 沖崎吉信、梶野照雄、青木宏充、坂田洋子 4名

10月に日本山岳会「第24回秩父宮記念山岳賞」の受賞が決まり、12月3日の年次晩餐会で表彰が行われ、晩餐会に先立って記念講演を行うことになった。秩父宮記念山岳賞の過去の受賞者は殆ど個人で、調査、研究などの学術的なものか、未踏峰の登頂などばかりだった。ボランティア団体が受賞するのは初めてだと思う。

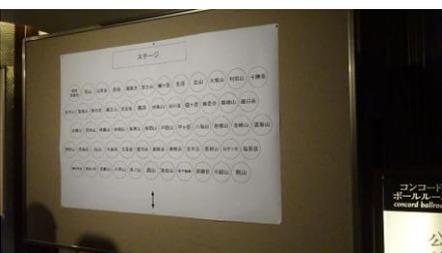


京王プラザホテル

記念講演

会場の新宿、京王プラザホテルには12時20分に着き、昼食を済ませて講演会場に向かう。4階の講演会場で青木、坂田の両名と

合流した。新宮山彦ぐるーぷの講演は最後なので、前の講演を聞きながら順番を待つ。待っている間に、山口の林さんや静岡の大島さん、同賞に強く推薦を頂いた京都の関本さん、岐阜の高木さんからお祝いのお言葉を頂いた。



関本、高木両氏と

晩餐会のテーブル表

晩餐会会場

講演の開始前に主催者側と打合せをする。講演者の沖崎さんは右側のテーブルに座り、パソコンは左の演台に固定されている。パソコンの操作と講演者の進行がうまく噛み合うか気がかりだが、45分の講演で31ページのデータを表示するので慌てる必要はない。講演開始前に客席がほぼ満席になった。記念講演だけを聞きに来た人が多かったようだ。講演は予定通り45分で終わり、晩餐会の開始を待つ。待ち時間の間に荷物を今夜宿泊のホテルに運んでおく。新宿は過去に3回来たことがあるが、いずれも車やバスで通過しただけ。今回初めて駅の近所を歩いた。東京都庁側はビジネス街で、駅東の歓楽街とは全く様子が異なっている。東京でそんなに歩くこ

とは無いと思っていたが、3日は1万歩、4日は6千歩歩いてきた。晩餐会は5階の「コンコード・ボールルーム」で午後6時から始まった。天皇陛下は本日ご欠席、とのことだった。



表彰式



賞状と副賞



会場は円形テーブルが59、一テーブルに6人なので単純計算すると354人が参加していることになる。先日の三井寺長吏就任の集いと同じように両端のテーブルは遠いのでよく見えない。

会長の挨拶や新入会員の紹介の後、秩父宮記念山岳賞の表彰が行われた。沖崎、梶野、青木、坂田の4人が壇上に上がり、沖崎代表が賞状と副賞を受け取り、受賞に感謝の言葉を述べた。

午後6時半過ぎから料理が運ばれて、コロナ対策のため小声で乾杯した後、晩餐会が始まった。晩餐会の会場はホテルなので、時間通り午後7時30分にお開きになった。

晩餐会終了後、4人で最上階のスカイラウンジに上がり、簡単な

慰労会を行う。40分ほどでラウンジを後にし、宿泊先のホテルまで歩いて向かった。

翌4日、青木、坂田の2名は先に朝食を済ませて、都庁や周辺を散策。沖崎、梶野の2名は朝食の後、東京駅に向かう。午前11時発の新幹線に乗り、名古屋駅で沖崎さんと別れて帰阪した。

(記：梶野)